

# ねりまの文化財

## 平成21年度 新規指定・登録文化財

1月27日、練馬区文化財保護条例に基づいて、新たに「愛染院文書」を指定文化財、「丸山東遺跡出土の石棒」を「谷原の庚申塔」「井口家の屋敷林」を登録文化財としました。指定・登録文化財は、学識経験者で構成される区の文化財保護審議会の意見に基づき、所有者の同意を得たうえで、教育委員会決定してまいります。

これにより区の登録文化財は、有形文化財97件、無形文化財2件、有形民俗文化財38件、無形民俗文化財24件、史跡13件、名勝1件、天然記念物10件の合計185件となりました。このうち、とくに重要であると認められた指定文化財は42件となりました。

文化財は、長い歴史を通して先人たちが築き、守り伝えてきた大切な遺産です。練馬区では、これからも地域文化の創造に欠かせない文化財の保護・活用に努めてまいります。

なお、今年度新規の指定・登録文化財および昨年度指定・登録した文化財を、石神井公園ふるさと文化館で紹介しています。

新規指定・登録の「愛染院文書」のうち朱印状1点や「丸山東遺跡出土の石棒」などを展示していますので、ぜひお立ち寄りください。

◇展示期間 5月11日(火)まで

※休館日は月曜日(但し、月曜日が祝休日のときはその翌日)

石神井公園ふるさと文化館  
石神井町5-12-16  
電話03-3996-4060

文化財をご覧になる時には、所有者や周囲の方々の迷惑とならないようご配慮ください。また、公開されていないものもありますので、ご注意ください。

練馬区教育委員会  
生涯学習課  
(文化財係)  
〒176-8501  
練馬区豊玉北6-12-1  
Tel 03(5984)2442

### 愛染院文書 (一括67点) 指定有形文化財

愛染院に伝わる徳川將軍家の朱印状を含む67点の文書群です。

將軍家の朱印状は、慶安2年(一六四九)の三代將軍家光から万延元年(一八六〇)の十四代將軍家茂までのものが9点あり、漆塗りの御朱印箱(左写真)に一括して納められています。また將軍家から朱印状をもらう際の手続に関わる文書や記録もあります。

このほか、天保5年(一八三四)に総本山である智積院・小池坊が連名で与えた免状や、嘉永7年(一八五四)の上練馬村の「宗門人別書上帳」なども含んでいます。



御朱印箱



徳川家光朱印状

右の写真は、「愛染院文書」のうち最も年代の古い三代將軍家光の朱印状です。文面を読み下してみましよう。

武蔵国豊嶋郡上練馬村若宮八幡領同所のうち八石、別当愛染院領同村において拾式石巻斗餘、令せて式拾石巻斗餘の事、光規に任せこれを寄附し訖ぬ、全く收納すべし、並びに、寺中山林竹木、諸役等免除す、有り来りの如く、永く相違有るべからざるものなり、

内容は、上練馬村にある若宮八幡(現八幡神社、高松1-16)領と愛染院領あわせて20石1斗余りを、以前と同様寄附するので、きちんと年貢を徴収しなさい、また領内の諸税等を免除します、これらは今後とも変わることはありませんとして承認しています。

これ以外の將軍家朱印状8点も同内容のものです。愛染院は本来、若宮八幡の別当寺(付属寺院)でしたので、社領を含めて所領を安堵されました。



練馬区指定文化財一覧

12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	元	年度	名 称	登録年度																					
34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	No.	
関のかんかん地藏	相原家薬医門	本寿院のみくじ道具	小美濃英男家文書	丸山東遺跡出土の木製品	千川家文書	閻魔・十王像と檀拵幢	妙福寺の梵鐘	三宝寺の梵鐘	長命寺の梵鐘	石幢七面六観音勢至道しるべ	練馬東小学校のフジ	長享二年の申待板碑	井口家文書	井口家文書	井口家文書	北町聖観音座像	御府内井村方旧記	鶴の舞	氷川神社富士塚	豊島氏奉納の石燈籠	下練馬の富士塚	下練馬の大山道道標	尾崎遺跡出土品	妙福寺文書	春日町出土の壺形土器	長命寺仁王門	服部半蔵奉納の仁王像	大八車	中里の富士塚	町田家文書	北条氏康印判状	南蔵院鐘樓門	小島家文書	No.	
昭和63年度	平成2年度	平成7年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	昭和63年度	昭和62年度	昭和61年度	昭和61年度	昭和62年度	平成6年度	昭和61年度	平成7年度	平成6年度	平成5年度	昭和62年度	平成4年度	平成2年度	昭和62年度	平成元年度	平成3年度	平成元年度	平成元年度	平成元年度	昭和62年度	昭和63年度	昭和61年度	昭和63年度	昭和61年度	昭和63年度	昭和62年度	昭和63年度	昭和62年度	昭和63年度	登録年度

元年	昭和63年度										昭和62年度					昭和61年度			No.	名 称	所在地	所有者等				
23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	No.	名 称	所在地	所有者等
妙福寺文書	加藤家文書	長命寺仁王門	伊賀衆奉納の水盤・鳥居	町田家文書	氷川神社の狛犬	閻魔・十王像と檀拵幢	角柱型水盤	氷川神社の水盤	榎本家長屋門	氷川神社の旧拝殿	南蔵院鐘樓門	小島家文書	妙福寺の梵鐘	牛若丸・弁慶図絵馬	双蝶々曲輪日記図絵馬	石幢七面六観音勢至道しるべ	豊島氏奉納の石燈籠	服部半蔵奉納の仁王像	*1長享二年の申待板碑	北条氏康印判状	三宝寺の梵鐘	長命寺の梵鐘	No.	名 称	所在地	所有者等
南大泉5丁目6	土支田4丁目	高野台3丁目10	大泉町5丁目15	東大泉7丁目	氷川台4丁目47	大泉町6丁目24	氷川台4丁目47	石神井台1丁目18	南田中4丁目	豊玉南2丁目15	中村1丁目15	練馬区	南大泉5丁目6	高野台3丁目10	高野台3丁目10	中村3丁目11	石神井台1丁目18	高松3丁目19	(欠番)	石神井台1丁目16	石神井台1丁目15	高野台3丁目10	No.	名 称	所在地	所有者等
妙福寺	個人	長命寺	氷川神社	個人	氷川神社	教学院	氷川神社	氷川神社	個人	氷川神社	南蔵院	妙福寺	長命寺	長命寺	(管理者)南蔵院	良弁塚	氷川神社	御嶽神社		道場寺	三寶寺	長命寺	No.	名 称	所在地	所有者等

練馬区登録文化財一覧  
(有形文化財)

21	20	19	17	15	14	13
42	41	40	39	38	37	36
愛染院文書	中宮遺跡5号住居址の盛土状遺構出土品	旧内田家住宅	内田家の屋敷林	神輿渡御行列図絵馬	井頭のヤナギ	伊賀衆奉納の水盤・鳥居
平成19年度	平成8年度	平成19年度	平成3年度	平成12年度	昭和元年度	昭和63年度





元		63		昭和62年度		昭和61年度		(有形民俗文化財)	
No.	名称	所在地	所有者等	No.	名称	所在地	所有者等	No.	名称
8	下練馬の富士塚	北町2-41	浅間神社	2	中里の富士塚	大泉町1-44	富士浅間神社	1	江古田の富士塚
7	狐の大根取り入れ図絵馬	西大泉3-13	諏訪神社	3	北町聖観音座像	北町2-38	北町観音堂	1	江古田の富士塚
6	関のかんかん地蔵	関町東1-18	(管理者) 三宝寺	4	弥陀三尊来迎画像板碑	石神井台1-15	三宝寺	2	中里の富士塚
5	大八車	練馬区		5	ホウキ製造技術	春日町6-12	篠田歳治	3	北町聖観音座像
4	関のぼろ市	関町北4-16	本立寺門前	6	高野台3丁目土方吉雄・平成6年9月14日死亡により登録解除			4	北町聖観音座像
3	探湯の儀	中村3-8	御嶽神社	7	関町南3丁目井口平蔵・平成7年5月21日死亡により登録解除			5	北町聖観音座像
2	関のぼろ市	関町北4-16	本立寺門前	8	高松1丁目鹿島佐平・平成10年6月26日死亡により登録解除			6	北町聖観音座像

元		63		(無形民俗文化財)		平成12年度		平成11年度		平成7年度		平成19年度	
No.	名称	所在地	所有者等	No.	名称	所在地	所有者等	No.	名称	所在地	所有者等	No.	名称
2	関のぼろ市	関町北4-16	本立寺門前	9	氷川神社富士塚	北町8-22	氷川神社	24	井戸替え用具	練馬区		93	光伝寺の地藏菩薩立像
1	探湯の儀	中村3-8	御嶽神社	10	棒屋資料	練馬区		25	醤油醸造業用具	練馬区		94	および閻魔十王像
No.	名称	所在地	所有者等	11	杖屋資料	練馬区		26	斎藤水車用具	南田中1丁目	個人	95	愛染院文書
21	谷原の庚申塔	富士見台4-36	個人	12	丸彫聖観音立像廻国供養塔	旭町2-9	稲荷神社	27	丸彫聖観音立像廻国供養塔	練馬区		96	大泉井頭遺跡出土の
20	福徳元年の月待板碑	南大泉5-6	妙福寺	13	大氷川の力石	氷川台4-47	氷川神社	28	谷原延命地蔵	練馬区		97	篠家文書
18	八幡神社の石造大山不動明王像	高松1-16	八幡神社	14	林稲荷神社の庚申塔	高松1-22	林稲荷神社	29	神輿渡御行列図絵馬	練馬区		98	小野蘭山墓および墓誌
16	高松の板碑型庚申塔	高松1-22	個人	15	高松の板碑型庚申塔	高松1-22	個人	30	江古田の富士講関係資料	練馬区		99	丸山東遺跡出土の石棒
13	豊玉北1-7	高松1-7	林稲荷神社	16	丸彫聖観音立像廻国供養塔	旭町2-9	稲荷神社	31	二十三夜待供養塔	練馬区		20	平成一九年度
13	氷川台4-47	氷川台4-47	氷川神社	17	本寿院のみくじ道具	早宮2-26	本寿院	32	江古田の富士講関係資料	練馬区		92	十一面観音懸仏
13	下石神井6-1	下石神井6-1	天祖神社	18	力持ち惣兵衛の馬頭観音	大泉学園町2-27	個人	33	神輿渡御行列図絵馬	練馬区		93	光伝寺の地藏菩薩立像
13	氷川台4-47	氷川台4-47	氷川神社	19	長享二年の申待板碑	練馬区		34	高松の板碑型庚申塔	練馬区		94	および閻魔十王像
13	氷川台4-47	氷川台4-47	氷川神社	20	織部燈籠	石神井町5-19	禅定院	35	御嶽講奉納の水盤	練馬区		95	愛染院文書
13	氷川台4-47	氷川台4-47	氷川神社	21	織部燈籠	石神井町5-19	禅定院	36	御嶽講奉納の水盤	練馬区		96	大泉井頭遺跡出土の
13	氷川台4-47	氷川台4-47	氷川神社	22	富士講巡拝装束	練馬区		37	福徳元年の月待板碑	練馬区		97	篠家文書
13	氷川台4-47	氷川台4-47	氷川神社	23	棒屋資料	練馬区		38	谷原の庚申塔	練馬区		98	小野蘭山墓および墓誌
13	氷川台4-47	氷川台4-47	氷川神社	24	井戸替え用具	練馬区						99	丸山東遺跡出土の石棒

昭和63年度	(史跡)			平成16年度	平成15年度		平成14年度		5	平成4年度			平成3年度		2	元											
No.	名 称			No.	No.		No.		No.	No.			No.		No.	No.											
3	2	1	No.	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3
池永道雲墓	*9 小野蘭山墓	東高野山奥之院		上石神井囃子	北町囃子	白山神社囃子	谷原囃子	富士見台囃子	春日町囃子	貫井囃子	大山講灯笼立て行事	南田中囃子	石神井台囃子	田柄囃子	中里囃子	*8 ちがや馬飾り	ちがや馬飾り	ちがや馬飾り	神輿渡御の御供道中歌	鶴の舞	関町囃子	関町囃子	谷原の餅搗き唄	*7 ちがや馬飾り	中村囃子	石神井囃子	八丁堀三吉囃子
練馬4-27	(欠番)	高野台3-10	長命寺	上石神井囃子連中(上石神井地域)	北町囃子保存会(北町地域)	白山神社囃子連(練馬地域)	谷原囃子保存会(谷原・高野台地域)	富士見台囃子保存会(富士見台地域)	春日町囃子連(春日町地域)	貫井囃子保存会(貫井・高松地域)	向三谷大山講(下石神井1・2丁目地域)	南田中囃子保存会(南田中地域)	石神井台囃子連(石神井台地域)	田柄囃子保存会(田柄地域)	中里囃子連(大泉町地域)	(解除)	東大泉5丁目 加藤義雄	北町1丁目 内田和助	氷川台4-47 氷川神社 氷川神社宮宿鶴の舞保存会	氷川台4-47 氷川神社	関町囃子保存会(関町地域)	高野台3丁目 増島兼吉	高野台3丁目 増島兼吉	(解除)	中村囃子連(中村地域)	石神井囃子連(石神井町地域)	八丁堀三吉囃子保存会(旭町地域)

\*7 北町1丁目内田安太郎・平成7年7月31日死亡により登録解除  
 \*8 田柄2丁目山口勝男・平成21年4月16日死亡により登録解除

(天然記念物)		(名勝)		昭和63年度	元		平成14年度		8	7	昭和63年度		
No.	名 称	No.	名 称	No.	名 称	No.	名 称	No.	名 称	No.	名 称	No.	名 称
63	1 練馬白山神社の大ケヤキ	8	1 牧野記念庭園	4	八の釜の湧き水	10	10 圓淨法師塚	12	12 河野鎮平筆子碑	9	9 田柄用水記念碑	5	5 池淵遺跡
	練馬4-2		東大泉6-34		東大泉2-27		春日町5-35		春日町3-2		田柄4-27		春日町5-12
	白山神社		練馬区		八の釜憩いの森(所有者) 個人		練馬区		けやき憩いの森(所有者) 個人		天祖神社		練馬区
											阿弥陀堂・個人		練馬区
											大泉公園 練馬区		練馬区
											大泉学園町2-2		練馬区
											城北中央公園 東京都		練馬区
											関町南2-4丁目他 東京都		練馬区
											氷川台1-7		練馬区
													練馬区

\*9 墓誌を追加し名称変更・有形文化財No.98へ種別変更のため欠番

注 所在地が練馬区となっている文化財の所在地は、石神井公園ふるさと文化館(石神井町5-12-16)です。



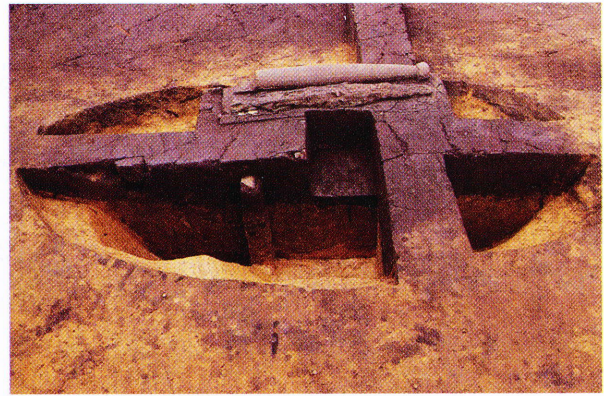
まるやまびがしいせきしゆつど せきぼう  
**丸山東遺跡出土の石棒**  
 (2点) 登録有形文化財

東京外かく環状道路敷設に先立ち、昭和62年から発掘調査を行った外かく道路関連遺跡群のうち、丸山東遺跡(大泉町三丁目)は、昭和63年から平成4年にかけての発掘調査で、縄文時代の遺構として前期の住居跡や、墓と考えられる土坑などがみつかった。出土遺物には、縄文時代早期や中期の土器が多いのですが、今回登録した石棒が出土した土坑からは縄文時代中期後葉の土器が出土しました。

写真右のように石棒は、9号土坑の覆土上面に2点横たわって出土していました。土坑は、幅約1m、長さ2.1mの楕円形で、底面は平らな形をしており、墓穴と考えられます。

石棒は、緑泥片岩製で熱を受けています。うち1点は、ほぼ完全な形で最大長79cm、最大幅10cm、最大厚8.7cm、重さ約10kgです。頭部に溝状の沈線を施した装飾がみられます。もう1点は原形をとどめないほど劣化しています。調査後に保存処理を行いました。

石棒は、男根を模したといわれ、子孫繁栄や収穫を祈ったともいわれる祭祀的な遺物です。このような遺存状態が良好な大形の石棒は、区内でも唯一で、遺構に伴って出土した事例としても珍しいものです。



石棒の出土状態



やわら こうしんどう  
**谷原の庚申塔(1基)**  
 登録有形民俗文化財

宝永6年(一七〇九)長命寺の塔頭観照院(19世紀初めに廃寺)を願主として、谷原村の庚申講結衆22人が建てた庚申塔です。石造で、総高は150cm、塔身の高さは90cmです。

塔身の上には、唐破風屋根の形をした笠を付け、頂部には蓮華のつぼみを模した珠をのせています。

正面には邪鬼を踏む青面金剛立像、向かって左側面には阿弥陀如来立像、右側面には地藏菩薩立像が浮彫りされるなど、随所に意匠を凝らした庚申塔です。



阿弥陀如来立像 (左側面)



青面金剛立像 (正面)



地藏菩薩立像 (右側面)

いぐちけ やしきりん  
**井口家の屋敷林(1箇所)**  
 登録天然記念物

立野町37番の千川上水に隣接した屋敷林で、約二、三〇〇㎡あります。

屋敷の周囲にケヤキを中心として、ヒイラギモクセイの生垣、シラカシの防風林、イヌシデ、孟宗竹林などで構成されています。ケヤキやイヌシデには、樹齡200年を超える大木が10株ほどみられます。

千川上水と屋敷林には、往時の面影がよく残されています。区内でも数少ない武蔵野の典型的な屋敷林の特徴を保っており、地域の自然と人間のかわりを記念するものです。

